

脂漏性湿疹の長期経過後に顔面症状が再燃し通院不要となった成人アトピーの経過 (50 歳 女性)

症例 ID：001-50-SHt | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

約 10 年前に脂漏性湿疹と診断され、約 2 年間通院しましたが症状は続きました。その後、数年間は皮膚症状が出ない時期がありました。1998 年 12 月頃、顔面の強い赤みを伴うアトピー症状が出て治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	過去の外用薬の詳細は不明です。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	不明です。
来院前／後	来院前の使用歴は不明です。来院後はステロイドを使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
約 10 年前	脂漏性湿疹	脂漏性湿疹で約 2 年間通院しましたが、改善は得られませんでした。
その後数年	安定期	皮膚症状がみられない時期が続きました。
1998 年 12 月頃	再燃	顔面が赤くなるアトピー症状が急に出了ました。
同時期	治療開始	煎じ薬などによる治療を開始しました。
約 1 年 3 か月後	経過中	見た目ではほぼ症状が分からない状態となりました。
その後	経過後	皮膚症状のために受診する必要がなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、1998 年 12 月頃に顔面が強く赤くなり、急なアトピー症状が出た時期です。

5. 困りごと

- 脂漏性湿疹として長期間通院しても症状が続きました。
- 顔面の赤みが外見上の負担となりました。

6. 経過のまとめ

治療開始約 1 年 3 か月後には見た目ではほぼ症状が分からない状態となり、その後は皮膚症状のために受診する必要がなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。